

製品名: AKT ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe03759**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット、ハムスター
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.51mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 56 kDa; Observed MW: 56 kDa

抗原情報

遺伝子名	AKT1/AKT2/AKT3
別名	AKT1
遺伝子 ID	207/208/10000
SwissProt ID	P31749/P31751/Q9Y243
免疫原	-

背景

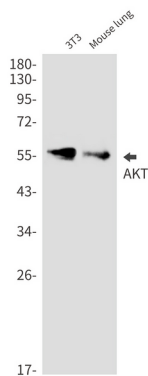
Akt (PKB または Rac と呼ばれる) は、生存とアポトーシスの制御において重要な役割を果たします。このタンパク質キナーゼは、

インスリンや様々な増殖因子・生存因子によって活性化され、PI3 キナーゼを介したワートマンニン感受性経路で機能します。Akt は、リン脂質結合と PDK1 による活性化ループの Thr308 のリン酸化、およびカルボキシ末端の Ser473 のリン酸化によって活性化されます。

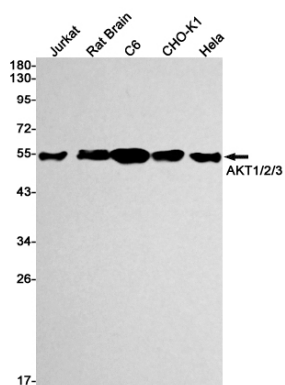
研究分野

シグナル伝達

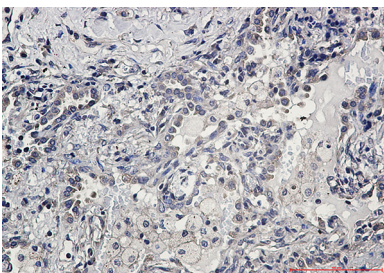
画像データ



AKT 抗体を使用した 3T3 マウス肺溶解物中の AKT のウエスタン ブロット分析。



AKT 抗体を使用した、Jurkat、ラット脳、C6、CHO-K1、Hela 溶解物中の AKT1/2/3 のウエスタン ブロット分析。



AKT1/2/3 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。